

公表基準に基づく医療事故の包括的公表（平成25年度）

名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院

	発生年月	発生場所	事故の概略	再発防止策
1	2013年7月	西部リハ	倒れそうになった椅子を支えようとしてバランスを崩し転倒。事業所医師の診察後、救急病院へ搬送。左大腿骨転子部骨折と診断された。	転倒を誘発しないような環境の整備 訓練プログラムの再検討
2	2013年10月	病室	他患の内服薬を間違えて内服させてしまった。当直医へ報告し、本人の内服薬も内服して良いとの指示を受ける。本人には成分の違いを説明し謝罪した。	患者確認方法の基本（フルネーム、ネームバンドでの確認）の周知徹底
3	2013年12月	病室	病室にて床に横たわっているのを発見。右大腿部に疼痛あり。レントゲン検査にて右大腿骨頸部骨折と診断され、手術目的にて救急搬送した。入院初日で主治医と看護師から歩行時は必ずナースコールをするよう説明した直後のことであった。	コールマットの使用検討 安静度の周知徹底
4	2013年12月	通所リハ	出入口付近にて自分の足に絡まり転倒。右下腿遠位部に痛みがあり、立位困難なため外来受診。検査にて右内果骨折と診断され入院となる。事故発生時は開始前で利用者で混み合っていた。	職員が出迎え入口付近で溜まらないよう促し混雑を回避した
5	2014年2月	病室	術後安静の方のドレーンチューブの接続部が外れているところを発見。ドレーンチューブをクランプし当直医へ報告。当直医にてドレーン抜去し消毒・ガーゼ保護施行。ドレーン先端部分を細菌培養検査へ提出した。	術後ドレーン管理についての看護基準の整備 定期的な観察と記録の徹底